

この度は当社商品をお買い上げ頂きまして有難うございます。本書は製品を正しくご使用頂く為の使い方・製品説明及び注意事項を記載しております。必ず本書をお読みになってから製品の取付作業、ご利用を行ってください。



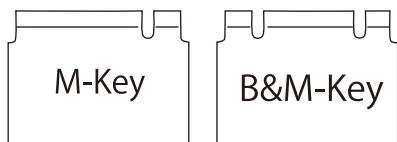
使用上の注意

- パソコンの内部に部品を取り付ける場合は、パソコンの電源及び周辺機器の電源を OFF にしてから取付作業を行ってください。
- パソコンで使用直後はパソコン内部に触れないでください。内部に高温となる部分がある為、冷めるまでお待ちください。
- 液体や異物が入らないように注意してください。また、本製品を高温、多湿、火気周辺、結露が発生する場所、強い磁気が発生する場所、平らではない場所、その他常識では考えられないような場所で使用しないでください。
- 本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取り付けるパソコン及び周辺機器の取扱説明書を合わせてご確認ください。
- 異音、異臭がする場合は直ちに使用を止め、当社までお問い合わせください。
- 本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように作業してください。
- 本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いてください。静電気が発生しにくい衣類を身に着けて作業を行ってください。
- 本製品を接続する前に必ずパソコンデータのバックアップを行ってください。本製品の故障又は使用上生じた他機器の破損、損害及びデータ損失につきましては一切の責任を負いません。
- 特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
- 本製品を破棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄してください。

仕様

PCとの接続	PCI Express x4 (Gen4 / Gen3) ※M.2 / PCI Express スロットがそれぞれ対応している必要があります。 ※UEFI搭載のIntel チップ100番シリーズ以上、AMD A320以上
搭載可能M.2	NVMe接続 M.2 (MKey/ B&M Key) ※SATA接続のM.2には対応していません。
対応M.2 サイズ	2280 / 2260 / 2242 / 2230
対応OS	Windows 11 / 10 / 8.1
基盤サイズ	102 x 54 mm
重量	34g
付属品	基盤本体・SSD用ヒートシンク・粘着シート 1枚 ・SSD固定ネジ・SSD固定ゴムバンド ・ロープロファイルブラケット(ハーフホワイト) ・ミニドライバー(工具 / SSD固定用)

22mm 幅の規格 M.2 SSD

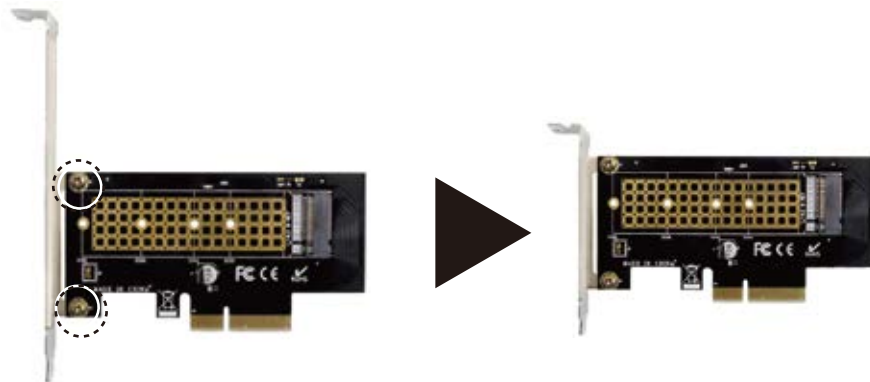


※SATA 接続のモデルはご利用頂けません。

スロットに M.2 SSD が刺さらない場合は規格が異なっていないかご確認ください。

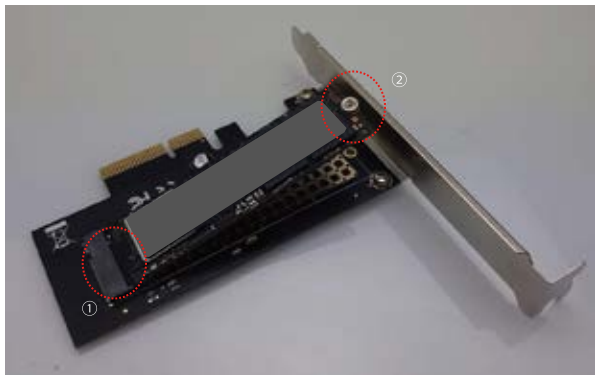
ロープロファイルへの付け替え


※ネジの取り外しに必要な工具 (プラスドライバー) は別途をご用意ください。



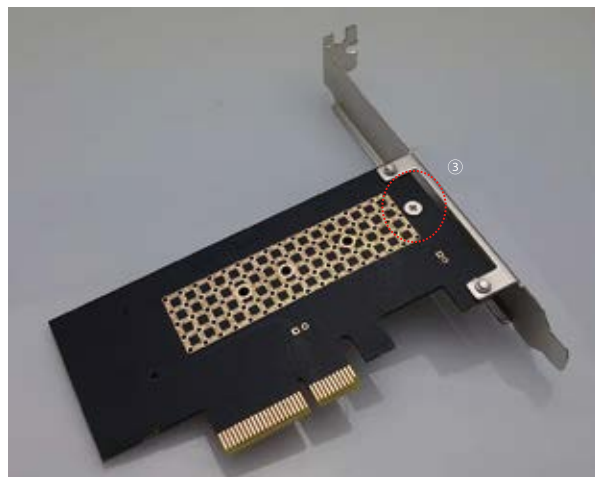
2箇所ネジを取り外して頂き、ロープロファイルブラケットへ交換後取り外したネジで固定をしてください。

M.2 SSD の取り付け



- ① M.2 SSD を切り欠きに合わせて斜めに挿しこんでください。
- ② 本製品に付属の固定用パーツ  を M.2 SSD の先端の凹み部分にあわせませす。

※本製品に M.2 SSD は付属していません。
※M.2 SSD が刺さらない場合は規格が対応したものが確認してください。
SATA 規格のものはご利用頂けません。



- ③ 固定用パーツが外れないように倒し、背面よりネジ留めをします。

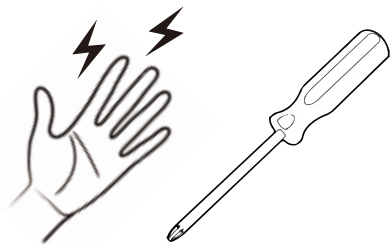


- ④ 付属のシリコンパッド両面のフィルムを剥がし、ヒートシンクの平らな面にはります。
※この時、隙間が出来ないように綺麗に貼ってください。

シリコンパッドの反対面を M.2 SSD に貼り付けます。
以上で完了です。

増設前の準備

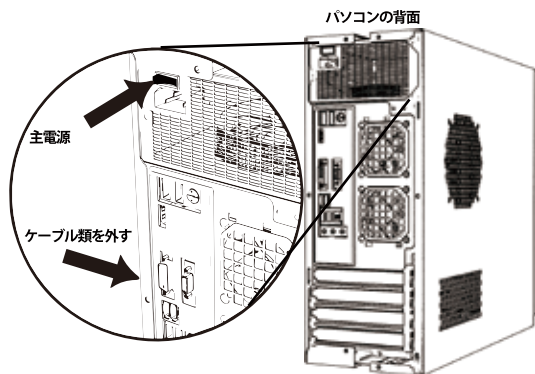
手の静電気を逃がし、ドライバを用意する。



PCは精密機械ですので、増設する前に、身の回りの金属物に手を触れて静電気を逃がしてください。プラスドライバをご用意し、作業ができる平らで、かつ安定している場所にて取り付けてください。

①電源を切る

電源を切り、すべてのケーブルを外す。

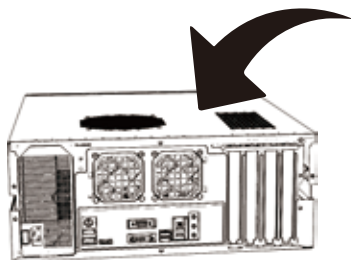


PCがシャットダウンしていることを確認し、背面の主電源を切ってください。また、接続しているケーブル類をすべて外してください。

※ケースの開け方は参考例になります。

②PCを横置き

PCを平らで安定している所に横置きにする。

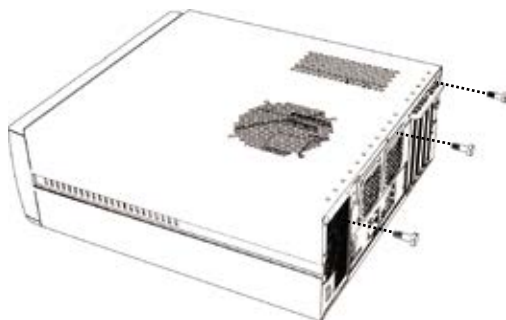


パソコンを平らな場所に置いてください。平面にゆっくり倒して、横置きにしてください。

※ケースの開け方は参考例になります。

③ネジを外す

PCケースのカバーのネジを外す。



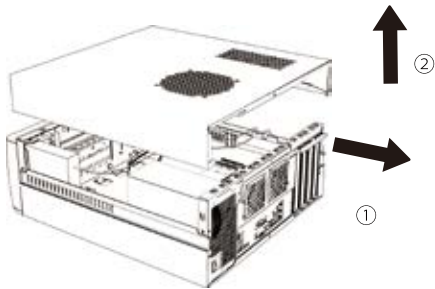
PCケースのカバーを固定しているネジを取り外してください。

※PCケースによって、外し方が異なります。詳細はケースの説明書をご確認ください。

※ケースの開け方は参考例になります。

④蓋を外す

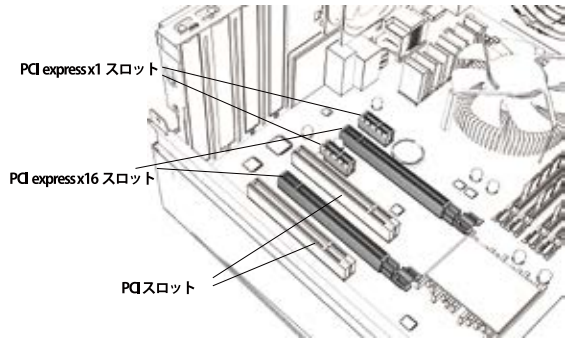
PC ケースのカバーを外す。



カバーを外してください。

※ケースの開け方は参考例になります。

⑤スロットを確認



増設する拡張カードが対応しているスロットを確認してください。

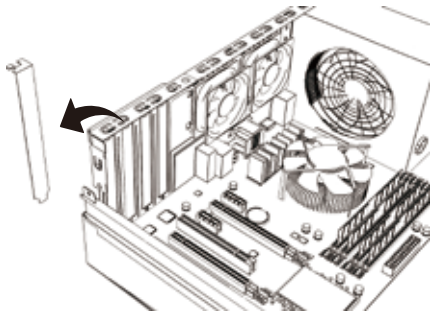
※本製品は PCI Express x4 接続ですので上記例ですと PCI Express x16 に接続が可能です。

※PCI スロットには接続できません。

※ケースの開け方は参考例になります。

⑥ブラケットを外す

PC ケースのブラケットを外す。

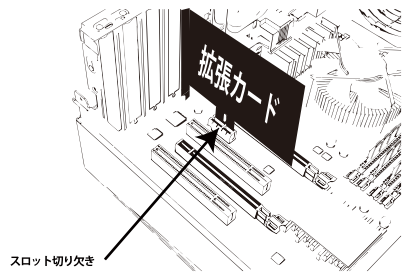


増設する箇所のブラケットを PC ケースから外してください。

※ケースの開け方は参考例になります。

⑦カードを増設

拡張カードをスロットに差し込む

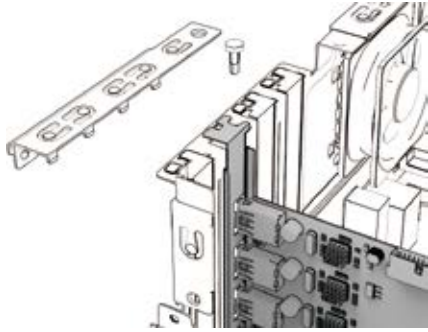


拡張カード(本製品)をスロットの切り欠きを確認し、最後まで垂直にゆっくり差し込んでください。

※ケースの開け方は参考例になります。

⑧ ブラケットを固定

拡張カードブラケットをネジ固定します。



拡張カードを PC ケースのネジ穴にあわせて、ネジで固定してください。

※本製品には固定用ネジを付属しておりません。PC ケースのネジをご利用ください。

⑨ 拡張完了

これで拡張作業が完了です。

これで、拡張作業が完了です。PC ケースのカバーを装着し、ケーブル類を接続してください。

PC を元に戻して、背面の主電源を入れてください。



ドライバインストールや認識確認作業へ
説明書 各 OS のページをご覧ください。

FAQ

■認識していない場合は下記をご確認ください。

●認識しない際は接続するPCI Expressスロットを変更してください。

※M.2 SSD(NVMe接続)をご利用の場合は、M.2スロットとPCI Express スロット排他仕様の場合がございます。
マザーボードの説明書をご確認ください。

●スピードがでない。

Gen4対応のM.2SSDを接続頂いてもPCI Express スロットがGen3であればGen3までのスピードになります。

PCI Express スロットはx16 形状スロットでも内部 配線が x1 / x2 / x4 / x8 の場合がございます。

x1 / x2 ですとレーン数が足りないので帯域は狭まり速度ができません。

※マザーボードの説明書をご参照ください。

●パソコンのBIOS / UEFI 設定をご確認ください。

1.PCI Express転送の設定確認。

Gen 1 / Gen 2 / Gen 3 / Autoなどの設定項目があるかと思いますがAutoの場合はGen 3に一度設定してご確認ください。



▲PC 本体の仕様によっても表示や設定が異なります為、詳細な設定に関しましては当社は分かりかねます。また、設定のないPCI, M/Bもございます。

●電源マネージメントの設定確認

昨今のPCは省エネ設定になっており、通常使わない電力は絞っている場合がございます。その為、省エネ設定を一旦解除して頂き、通常モードに変更してお試しください。

▲PC 本体の仕様によっては表示や設定が異なります為、当社では詳細な設定までは分かりかねます事をご理解ください。

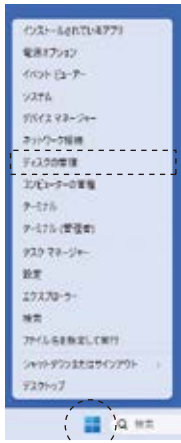
※Low Power Mode やPowerという項目から細かく設定出来る機種もございます。

4.本製品を接続後、本体のFANは回転しているのにモニターにWindowsが表示されなくなりました。

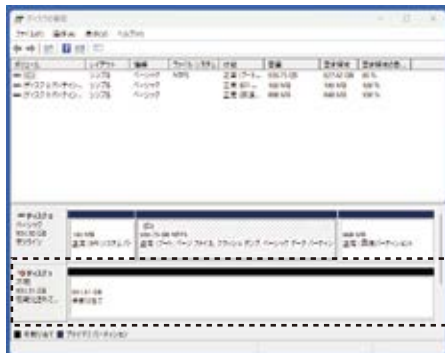
接続頂いたスロットの初期設定がVGA優先になっており、本製品がVGAカードと誤認識されている可能性がございます。UEFIのPCI Express の設定をご確認ください。

ディスクの管理

ドライブが見えない場合は「ディスクの管理」をご確認ください。
ここからの作業にはフォーマットも含まれます。
※フォーマット操作を行いますとデータは全て消えます。



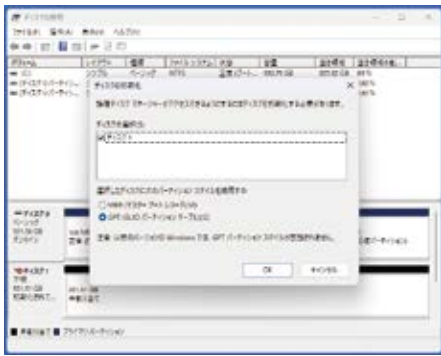
Windows のスタートを右クリックして頂くとブルアップ表示が出ますのでそのなかから「ディスクの管理」をクリックしてください。
↓下記のような新しいウィンドウが開きます。



左の例のように「初期化されていません」「未割り当て」という表示が出ている場合はディスクがフォーマット前となります。



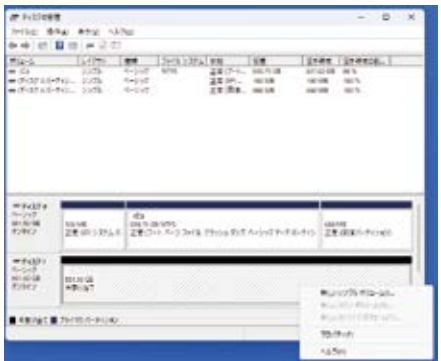
まずは「初期化されていません」をクリックして頂き、「ディスクの初期化」をクリックしてください。



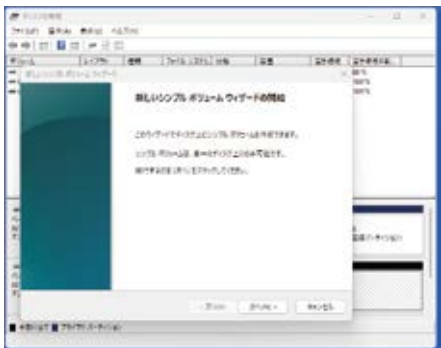
ディスクの初期化が出来ます。
GPTが自動的に選択されているようであれば、このまま「OK」をクリックしてください。



元の画面に戻ります。
この時「初期化されていません」と表示されていた箇所がオンラインになっているか確認してください。



次に「未割り当て」を右クリックします。
プルダウンメニューより「新しいシンプルボリューム」をクリックしてください。



「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」が表示されます。
内容を確認して「次へ」をクリックしてください。

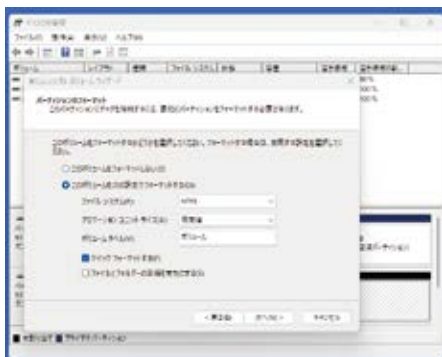


「ボリュームサイズの指定」にうつります。
全容量を単一ドライブで使用する時はこのまま「次へ」をクリックしてください。

パーティションを分ける時はサイズを変更して「次へ」をクリックしてください。



ドライブ文字の割り当てになります。
内容を確認頂き、「次へ」をクリックしてください。

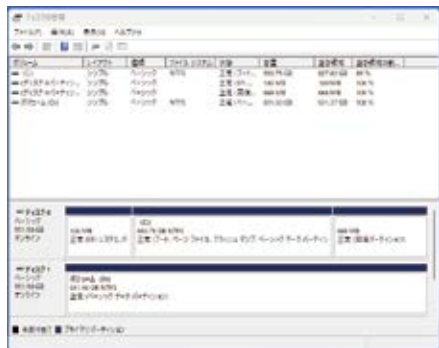


フォーマットするファイルシステム等を設定します。
内容を確認頂き、「次へ」をクリックしてください。

フォーマットが開始されます。
フォーマットにかかる時間はディスク容量や処理スピードにより異なります。



以上で設定内容の完了になります。
「完了」をクリックしてください。



正常に完了すると左のようにボリュームとなり、ディスク容量が表示されます。

